SONY

2-645-811-**03** (1)

マイクロハイファイ コンポーネントシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

COMPACT disc DIGITAL AUDIO　Mini Disc　MDLP

CMT-M3

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4~8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

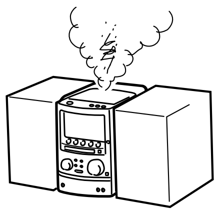
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、電源プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店、またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



1. **電源を切る。**
2. **電源プラグをコンセントから抜く。**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止
接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示　プラグをコンセントから抜く

目次

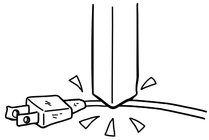
警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

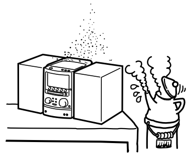




禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場などでは絶対に使用しないでください。

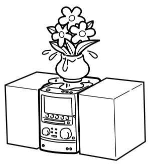




禁止

内部に水や異物が入らないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

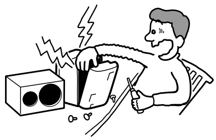




禁止

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

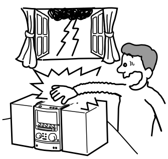




分解禁止

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

本機やアンテナ線、電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

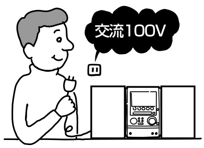




接触禁止

本機を日本国外で使わない

交流100Vの電源でお使いください。海外など、異なる電源電圧の地域で使用すると、火災・感電の原因となります。



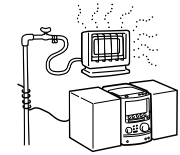


指示

警告　火災　感電　下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

ガス管にアース線やアンテナ線をつながない

火災や爆発の原因となります。



禁止

注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

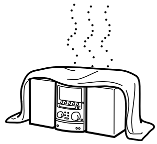
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

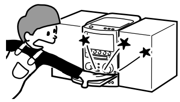
布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



禁止

幼児の手の届かない場所に置く

カセットやディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



指のケガに注意

大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。
呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。



禁止

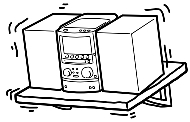
はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。特に、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

安定した場所に置く




禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに接続する


指示

異常が起きた場合にプラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるように、電源プラグは容易に手の届くコンセントにつないでください。
本機の電源スイッチを切っただけでは、完全に電源から切り離されません。

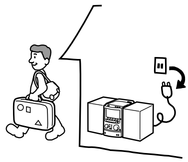
コード類は正しく配置する




禁止

電源コードやAVケーブルは、足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

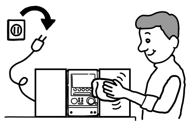
長期間使わないときは、電源プラグを抜く




プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く




プラグをコンセントから抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電池についての 安全上のご注意	**液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲**による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険　乾電池の液が漏れたときは

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

録音についてのご注意

- 大切な録音の場合は、必ず事前にためし録りをし、正常に録音されていることを確認してください。
- システムステレオやミニディスクなどを使用中、万一これらの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法上の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先：（社）私的録音補償金管理協会Tel. 03-5353-0336）

ステレオを聞くときのエチケット



ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。
窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件にしたがって修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

CD再生時のご注意

本製品は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品で再生・録音できない場合があります。

DualDiscについてのご注意

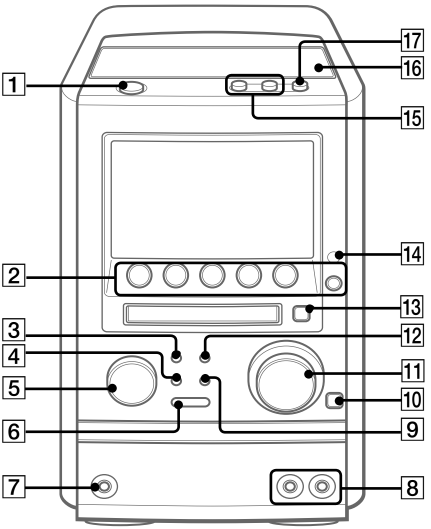
DualDiscとはDVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。なお、この音楽専用面はコンパクトディスク（CD）規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

この取扱説明書の使いかた

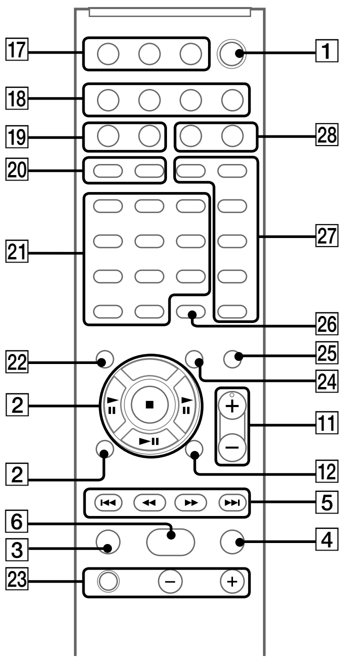
この取扱説明書では、主にリモコンによる操作を説明していますが、本体の同じ、または類似した名前のボタンを使っても同様の操作ができます。

各部の名前と働き

本体



リモコン



1 I/⏻（電源）ボタン（15ページ）

電源を入れる。

2 再生用ボタン（16、18、19ページ）
MD▶IIボタン、CD▶IIボタン、TUNER/BANDボタン、TAPE▶IIボタン、AUDIO INボタン

ファンクションを切り換える。CDやMD、テープの再生を始める。

■（停止）ボタン（18ページ）

再生中のCDやMD、テープを停止する。

3 COLORボタン（21ページ）

画面の色を変える。

4 SET UPボタン（15ページ）

設定画面を表示する。

5 本体：MULTI JOGダイヤル（I◁◁/▷▷I、◀◀/▶▶、+/−）（18ページ）

回してCDやMDの曲を選ぶ。ラジオ局の周波数を選ぶ。MDの編集項目を選ぶ。（リモコンのI◀◀/▶▶Iボタン、◀◀/▶▶ボタン、+/−ボタンと同じ働きをする。）

リモコン：I◀◀/▶▶Iボタン、◀◀/▶▶ボタン、+/−（tuning）ボタン（16、18ページ）

項目を選ぶ。頭出しする。

6 本体：ENTERボタン（15ページ）
リモコン：ENTER/YESボタン（15ページ）

決定する。

7 PHONESジャック

ヘッドホンをつなぐ。

8 AUDIO OUTジャック

本機から別売り機器に録音するときにつなぐ。

AUDIO INジャック（19ページ）

別売り機器をつなぐ。

9 RETURNボタン（15ページ）

1つ前の設定項目画面に戻る。

10 ⏏（CD取り出し）ボタン（17ページ）

CDを入れる。取り出す。

次のページにつづく

11 本体：VOLUMEつまみ（18ページ）

回して音量を調節する。

リモコン：VOLUME＋/－ボタン（18ページ）

音量を調節する。

12 FUNCTIONボタン（22ページ）

ファンクションを切り換える。

13 ⏏（MD取り出し）ボタン（17ページ）

MDを取り出す。

14 リモコン受光部（14ページ）

15 ワンタッチ録音用ボタン（23ページ）
SMART REC CD➡MDボタン、SMART REC TAPE➡MDボタン

ワンタッチで、CDやテープからMDに録音する。

16 ⏏ PUSH EJECT（17ページ）

テープを入れる。取り出す。

17 タイマー用ボタン（34ページ）
SLEEPボタン、TIMER PLAYボタン、TIMER RECボタン

タイマーを設定する。

18 マニュアル録音、シンクロ録音用ボタン（24、25ページ）
SYNCHRO REC MENUボタン、MD/TAPE RECボタン、REC PAUSE/STRATボタン、REC MODEボタン

MDやテープに録音する。

19 REPEATボタン（18ページ）

CD/MDをくり返し聞く。

FM MODEボタン（19ページ）

FMの受信音声（モノラル/ステレオ）を選ぶ。

20 PLAY MODE/TUNING MODEボタン（18ページ）

CD/MDの再生モードを選ぶ。
ラジオのチューニングモードを選ぶ。

TUNER MEMORYボタン（19ページ）

ラジオ局を登録する。

21 アルファベット/数字/カタカナ入力ボタン（18ページ）

MDやCDの曲を選ぶ（ダイレクト選曲）。ラジオ局のプリセット番号を選ぶ。文字を入力する。

22 MENU/NOボタン（25ページ）

MDの編集をする。

23 GROUP ON/OFFボタン（22ページ）

グループ機能を働かせる。

GROUP＋/－ボタン（24ページ）

グループを選ぶ。

24 NAME EDITボタン（19ページ）

ディスクやトラックの名前を編集する。

25 MUTINGボタン（20ページ）

消音する。

26 CLEARボタン（19ページ）

文字を消したり、プログラムした曲を消す。

27 サウンド用ボタン（20ページ）
DSGXボタン、ROCKボタン、POPボタン、JAZZボタン、VOCALボタン、FLATボタン

サウンドを選ぶ。

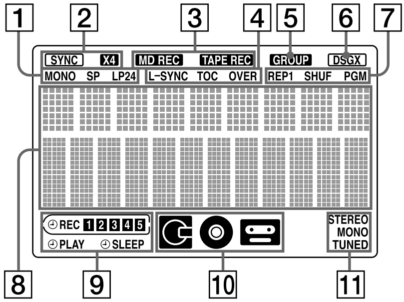
28 DISPLAYボタン（20ページ）

画面表示を選ぶ。

DIMMERボタン（20ページ）

画面の明るさを選ぶ。

画面表示の名前



1 録音モード表示(24ページ)

2 シンクロ録音表示(23ページ)
録音速度表示(23ページ)

3 MD REC（レコーディング）表示(24ページ)
TAPE（テープ） REC（レコーディング）表示(24ページ)

4 L-SYNC（レベルシンクロ）表示(24ページ)
TOC（トック）表示(23ページ)
OVER（オーバー）表示(32ページ)

5 GROUP（グループ）表示(31ページ)

6 DSGX表示(20ページ)

7 CD/MD再生モード表示(18ページ)

8 操作状況表示

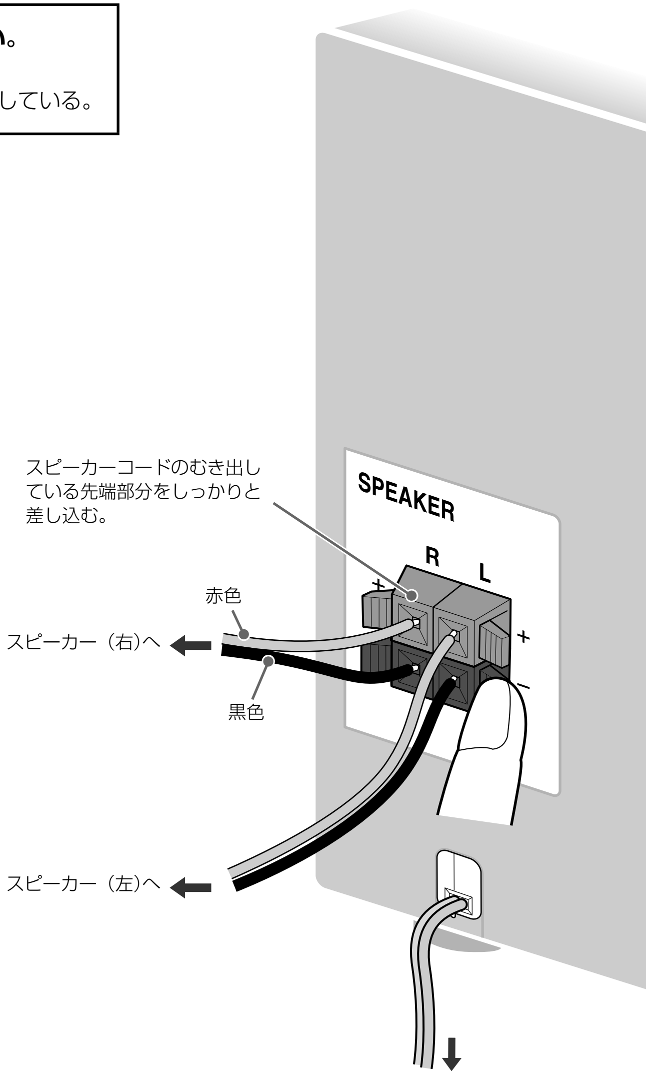
9 タイマー表示(34ページ)

10 MD/CD/テープ表示(17ページ)

11 ラジオの受信音声表示(18ページ)
ラジオ受信表示(18ページ)

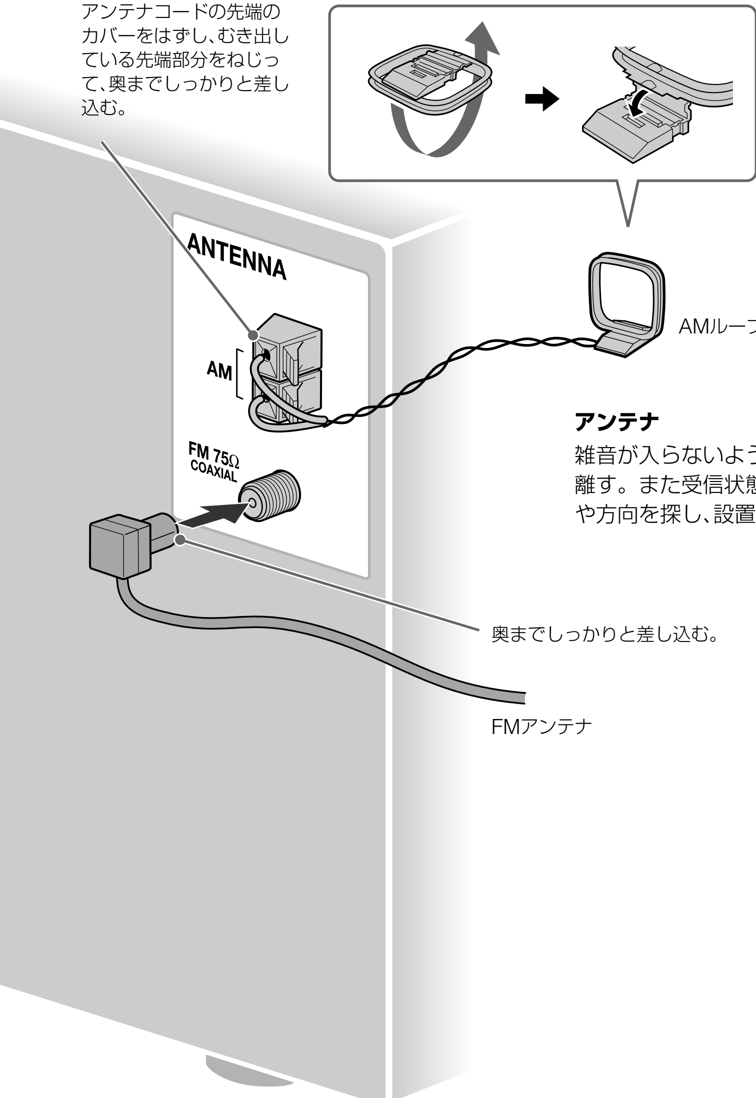
接続する

移動する前に必ず確認してください。
- CDやMD、テープを取り出す。
- 電源を切り、すべての動作が終了している。



電源

電源プラグを、壁のコンセントへ初めて差し込むと、デモ表示が自動的に始まる。デモ表示を消すには、「画面の表示や色を変える」（20ページ）をご覧ください。



アンテナ

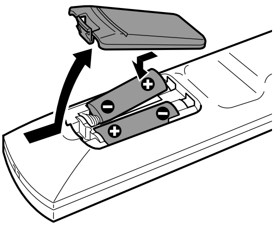
雑音が入らないようにスピーカーコードから離す。また受信状態のよい場所（窓の外など）や方向を探し、設置する。

準備

次のページにつづく

リモコンに電池を入れる

単3形乾電池を⊖極側から入れる。

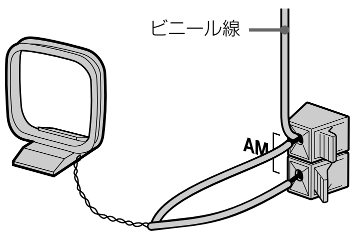


ご注意

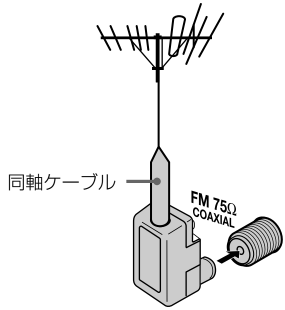
- 電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあるため、次のことを必ず守ってください。
  - ― ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - ― 新しい電池と使った電池、または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
  - ― 電池は充電しないでください。
  - ― 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出してください。
  - ― 液もれしたときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部 R 14に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにしてください。
- 電池の交換時期は約6か月で、リモコンを本体に近づけないと操作しづらくなったら、2個とも新しい電池に交換してください。

付属のアンテナで受信できないときは

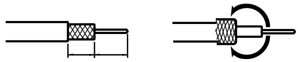
付属のAMループアンテナはつないだままにしておき、市販の6 ～ 15mのビニール線を、窓際や屋外になるべく高く水平に張る。



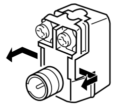
市販のFM屋外アンテナを、市販の75Ω同軸ケーブル(3C-2Vが適当)を使ってつなぐ。
屋外アンテナの購入、取り付けについては、本機をお買い上げいただいた販売店へご相談ください。



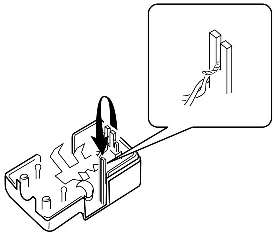
1 ケーブルの先端を処理する。



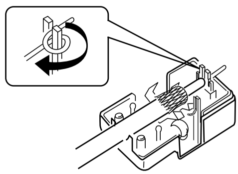
2 市販のアンテナコネクターのふたをはずす。



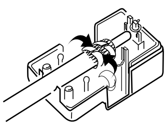
3 アンテナコネクター内のケーブルをはずし、突起にはめる。



4 芯線を根元まで差し込んで巻きつける。

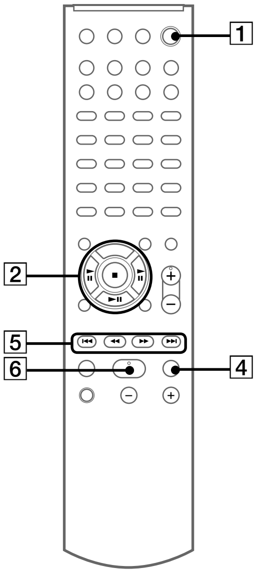


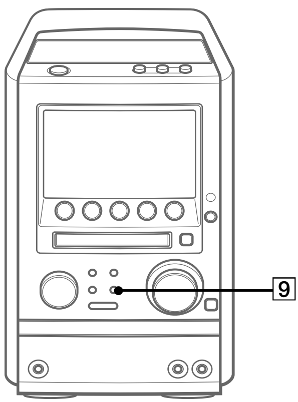
5 金具をペンチなどでしめつける。



6 FMアンテナ端子へつなぐ。

時計を合わせる





1 **I/⏻（電源）[1]を押して電源を入れる。**

2 **SET UP[4]を押す。**

3 **◀◀/▶▶[5]をくり返し押して、「CLOCKセッテイ」を選び、ENTER/YES[6]を押す。**

時計が表示され、「年」が点滅する。

4 **◀◀/▶▶[5]をくり返し押して、西暦の下2桁を合わせ、ENTER/YES[6]または▶▶[5]を押す。**

5 **手順4と同様に、「月」、「日」、「時」、「分」も設定する。**

6 **「分」を合わせた後、ENTER/YES[6]または▶▶[5]を押す。**

時計が動き始める。停電や電源コードを抜いたりすると、設定は解除される。

設定を途中でやめるには

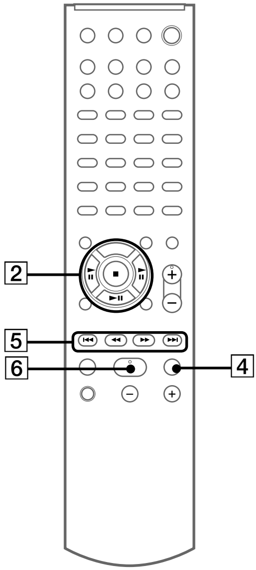
■[2]を押す。

1つ前の項目に戻るには

◀◀[5]（本体のRETURN[9]）を押す。

ラジオ局を登録する

FM（TV）放送は20局まで、AM放送は10局まで登録（プリセット）できます。聞くときは、プリセット番号を選ぶだけで選局できます。
テレビの放送局（1～3チャンネル）はあらかじめプリセットされています。



1 TUNER/BAND[2]を押す。

2 SET UP[4]を押す。

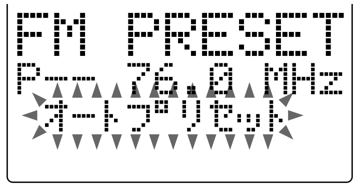
3 ⏮/⏭[5]をくり返し押して、「オートプリセット」を表示させる。

4 ENTER/YES[6]を押す。

地域名が表示される。

5 ⏮/⏭[5]をくり返し押して、お住まいの地域名を選び、ENTER/YES[6]を押す。

ラジオ局を受信すると自動的に止まり、プリセット番号が表示され、ラジオ局が登録される。
FMからAMへ連続して登録され、最初にプリセットしたラジオ局を受信する。
自動受信を途中でやめるには、■[2]を押す。



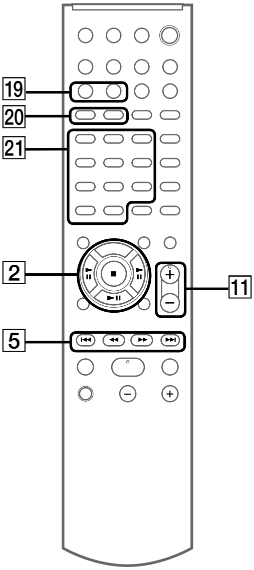
ちょっと一言

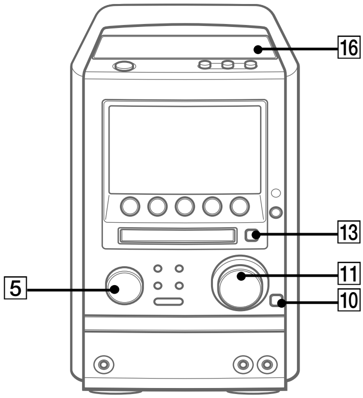
- 本機にあらかじめ登録されているラジオ局名（47ページ）と受信周波数が一致した場合は、そのラジオ局名も登録されます。
- 停電になったり電源コードを抜いても、記憶させたラジオ局は約1日保持されます。

テレビ放送受信についてのご注意

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

CD/MD/テープを聞く

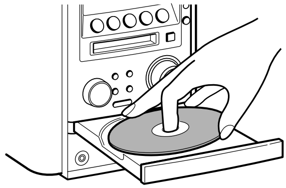




1 CDやMD、テープを入れる。

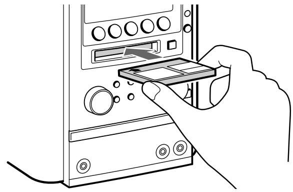
CD

本体の⏏10を押し、文字の書いてある面を上にして入れる（中央のくぼみは8cmシングルCD用）。
もう一度本体の⏏10を押して、ディスクトレイを閉める。故障の原因となるため、指で強く押して閉めないでください。



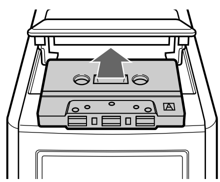
MD

文字の書いてある面を上にして、矢印の向きに差し込む。
取り出すときは、本体の⏏13を押す。



テープ

テープの絡まり防止のため、あらかじめテープのたるみをとる。
本体の⏏PUSH EJECT16を押し、聞きたい面を上にして、TYPE I（ノーマル）のテープを入れる。
もう一度本体の⏏PUSH EJECT16を押して、ふたを閉める。



次のページにつづく

2 再生を始める。

再生する	操作
CD	CD▶❚❚[2]を押す
MD	MD▶❚❚[2]を押す。
テープ	TAPE▶❚❚[2]を押す。 反対面を聞くときは、テープを裏返す。

3 VOLUME＋/－[11]を押して（本体のVOLUMEつまみ[11]を回して）、音量を調節する。

その他の操作

こんなときは	操作
再生を止める	■[2]を押す。
一時停止する	CD▶❚❚[2]またはMD▶❚❚[2]、TAPE▶❚❚[2]を押す。 解除するときは、もう一度押す。
CD/MDの再生したい部分を探す	再生中に◀◀/▶▶[5]を押し続け、聞きたいところで指を離す。
CD/MDの曲を選ぶ	❙◀◀/▶▶❙[5]をくり返し押す（本体のMULTI JOGダイヤル[5]を回す）。
CD/MDをくり返し聞く（リピート）	REPEAT[19]をくり返し押して、「REP」（ディスク全体を5回まで）または「REP1」（再生中の曲だけ）を表示させる。
テープを巻き戻す/早送りする	◀◀/▶▶[5]を押す（本体のMULTI JOGダイヤル[5]を回す）。

CD/MDの再生モードを変えるには

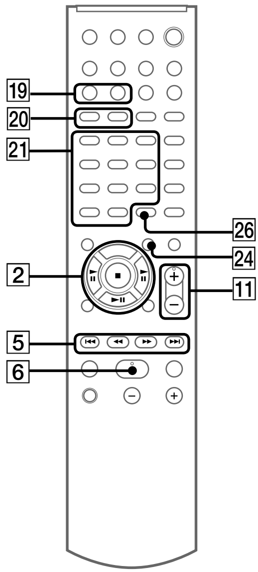
停止中にPLAY MODE[20]をくり返し押して、表示なし（ノーマル再生）、「SHUF」（シャッフル再生）、「PGM」（プログラム再生）（22ページ）を選ぶ。

数字ボタンを使って曲番を選ぶには

CD/MDのノーマル再生時に、曲番の数字ボタン[21]を押す。20曲目の場合は、>10、2、10/0の順に押す。

ラジオを聞く

あらかじめラジオ局を登録します（16ページ）。



1 TUNER/BAND[2]を押して、「FM」または「AM」を選ぶ。

テレビの放送局（1～3チャンネル）を聞くときは「FM」を選ぶ。

2 TUNING MODE[20]をくり返し押して、「PRESET」を選ぶ。

3 ＋/－[5]をくり返し押して、聞きたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ。

数字ボタン[21]で選ぶときは、10以降は、>10を押してからプリセット番号を押す。0は、10/0を押す。

4 VOLUME＋/－[11]を押して、音量を調節する。

手動でラジオ局を受信するには

「ラジオを聞く」(18ページ)の手順2で「MANUAL」を選び、+/−5をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる。
「AUTO」を選んだ場合、+/−5を押すと周波数表示が変わり、ラジオ局を受信すると自動的に止まる。

FMステレオ放送受信中、雑音が多いときは

FM MODE19を押して「MONO」を点灯させる。モノラル受信となり、雑音が少なくなる。

手動でラジオ局をプリセットするには

1 「ラジオを聞く」(18ページ)の手順2で「MANUAL」を選び、+/−5をくり返し押して、聞きたいラジオ局の周波数に合わせる。

2 TUNER MEMORY20を押す。
⏮/⏭5をくり返し押してプリセット番号を選び、ENTER/YES6を押す。

3 手順1、2をくり返す。

記憶させたラジオ局に名前を付けるには

1 「ラジオを聞く」(18ページ)の手順3で、名前を付けたいラジオ局のプリセット番号を選ぶ。

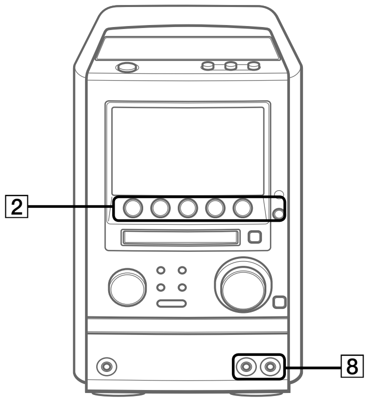
2 NAME EDIT24を押す。文字入力画面になり、カーソルが点滅する。

3 「名前を付ける(Name In)」(28ページ)の手順3 ～ 5の操作を行う。
10文字まで入力できます。名前を消すには、CLEAR26をくり返し押す。

テレビ放送受信についてのご注意

地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

別売り機器を使う



1 別売り機器をつなぐ。

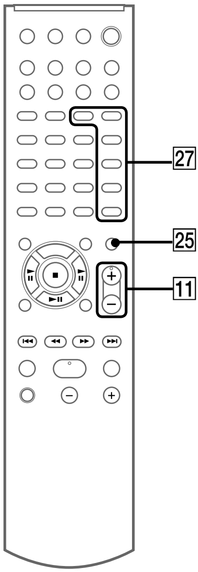
別売りのオーディオ接続コードを使って、本体のAUDIO INジャック8につなぐ。

2 AUDIO IN2を押す。

3 別売り機器の再生を始める。

基本

好みの音に変える



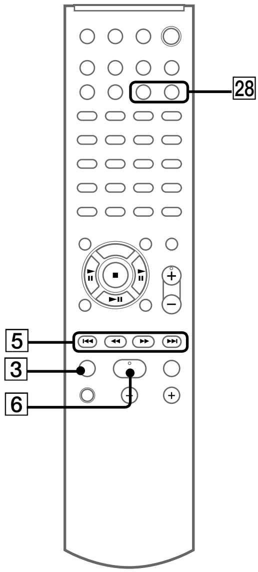
こんなときは	操作
低音を強調する	DSGX[27]をくり返し押して、「DSGX ON」を選ぶ。
消音する	MUTING[25]を押す。 もう一度MUTING[25]を押すかVOLUME＋[11]を押すと、音が出る。

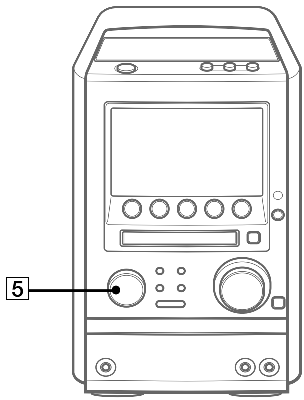
サウンド効果を楽しむには

ROCKまたはPOP、JAZZ、VOCAL[27]を押して、サウンド効果を選ぶ。
効果を消すには、FLAT[27]を押す。
効果は次の中から選べます。

ボタン	音質
ROCK	重低音と高音域を増強し、メリハリの効いた迫力のサウンドになる。
POP	低音域と高音域を増強し、軽やかで明るい感じになる。
JAZZ	低音域と高音域をはっきりさせ、ずっしりとした音質になる。
VOCAL	中音域を強調し、ボーカルがきわだつ。
FLAT	クラシックなど、ダイナミックレンジの広い音楽を聞くときに適する。

画面の表示や色を変える





こんなときは	操作
画面の明るさを変える*	DIMMER[28]をくり返し押す。
画面で情報を見る**	電源「入」時に、DISPLAY[28]をくり返し押す。

* 電源「入」時と「切」時に、それぞれ設定できます。

** CD/MDの総曲数や総演奏時間、1曲またはCD/MD全体の残り時間、MDのディスク名や曲名、グループ名、時刻が表示される。

電源「入」時の画面の色を変えるには

1 COLOR3を押す。

2 ⏮/⏭5をくり返し押して（本体のMULTI JOGダイヤル5を回して）、色の設定を選び、ENTER/YES6を押す。
色は次の中から選べます。

設定		内容
プリセット		本機にあらかじめ登録されている28色から選ぶ。
オート		
	レインボー	虹をイメージした7色に変化。
	リラックス	グリーン系などの癒しをイメージした色に変化。
	パッション	レッド系などの情熱的な色に変化。
	スカイ	1日の空模様をイメージした色に変化。
	1ジカン	1時間ごとに色が変化。
	1ニチ	1日ごとに色が変化。
マニュアル		R（赤）、G（緑）、B（青）の値をそれぞれ0から7まで設定する。
イニシャル		お買い上げ時の設定。

3 「プリセット」、「オート」、「マニュアル」を選んだ場合は、⏮/⏭5をくり返し押して（本体のMULTI JOGダイヤル5を回して）、設定したい色、項目、数値を選ぶ。

電源「切」時の画面表示を切り換えるには

電源「切」時に、DISPLAY28をくり返し押す。
画面表示は次の中から選べます。

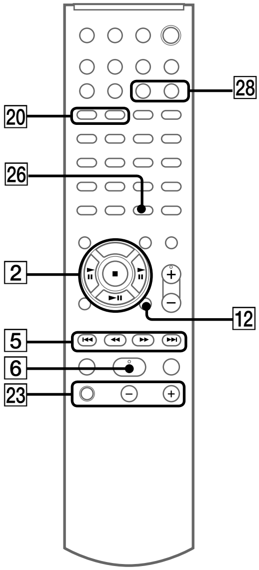
画面表示	電源「切」時に
時計表示	時計が表示される。
節電表示	時計表示も消して、何も表示しない（時計とタイマーは働く）。電源「切」時の消費電力を抑える。
デモ表示*	店頭展示用に画面やボタンが点滅する。

* 時計を設定してから電源を切ると、デモ表示ではなく時計が表示される。

基本

CD/MDを好きな曲順に登録する

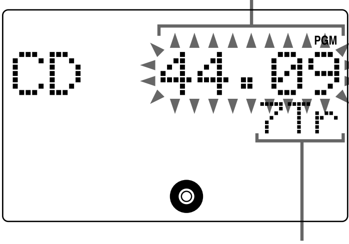
（プログラム）



1 FUNCTION⑫をくり返し押して、「CD」または「MD」を選ぶ。

2 停止中にPLAY MODE⑳をくり返し押して、「PGM」を表示させる。

3 ⏮/⏭⑤をくり返し押して、プログラムしたい曲を選ぶ。



4 ENTER/YES⑥を押す。

選んだ順にプログラムされる。
合計演奏時間が一定時間（CD：100分、MD：1,000分）を超えたときは、「－－.－－」と表示される。

5 手順3、4をくり返す

25曲まで選んでプログラムできます。

6 CD▶II②またはMD▶II②を押して再生する。

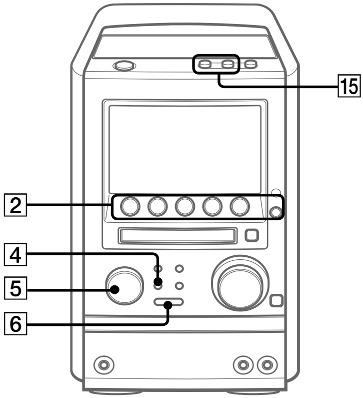
CDやMDを取り出したり、GROUP ON/OFF㉓を押すまでプログラムは残る。
同じプログラムを再生するには、CD▶II②またはMD▶II②を押す。

その他の操作

こんなときは	操作
ノーマル再生に戻す	停止中にPLAY MODE⑳をくり返し押して、「SHUF」や「PGM」を消す。
プログラムした曲の総数を調べる	停止中にDISPLAY㉘を押す。
プログラムを消す	手順4でCLEAR㉖を押す。押すたびに最後にプログラムした曲から消える。

MDにワンタッチ録音する
（SMART REC）

ワンタッチで1枚のCDをそのままMDに、高速（通常速度の約4倍）でデジタル録音できます。MDの曲番はCDと同じに自動で付きます。テープは通常速度でMDに録音できます。



1 録音用のMDを入れる。

2 再生用のCDまたはテープを入れる。

3 本体のSMART REC CD➡MD15 またはSMART REC TAPE➡MD 15を押す。

「SYNC」が点灯し、録音が始まる。録音済みMDに追加録音するときは、最後の曲の後に録音される。

録音を途中でやめるには

■2を押す。

CDを通常速度で録音するときは

1 SET UP4を押す。

2 ⏮/⏭5をくり返し押して「SMART REC×?」を表示させ、ENTER/YES6を押す。

3 ⏮/⏭5をくり返し押して「CD>>MD ×1」を選んでENTER/YES6を押す。

4 本体のSMART REC CD➡MD15を押して、録音を開始する。

CDの1曲のみをワンタッチ録音するときは

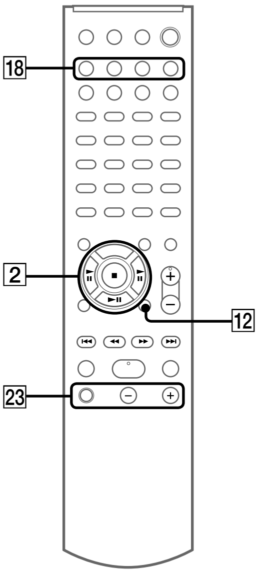
再生中に本体のSMART REC CD➡MD15を押すと、その曲の頭に戻ってその曲のみを録音する。

ご注意

- 録音した後にMDを取り出したり本機の電源を切ると、「TOC」または「TOC Writing」が点滅します。点滅中は、曲番や曲順などの録音情報（TOC）を書き込み中のため、電源プラグをコンセントから抜かないでください。正しくTOCが記録されず再生できなくなります。
- 音声レベルは－12dBから＋12dBの範囲内の0.0dBに固定されて録音されます。
- CDまたはテープを全曲録音するときは、CDまたはテープの再生時間よりも残り時間が長い録音用MDを使用してください。
- 高速録音時は、音が出ません。

MD/テープに録音する
（マニュアル録音/シンクロ録音）

MDやテープに手動で録音できます。また、MDの録音可能時間を選べます。
MDに録音時は、音源が約2秒以上続けて一定レベル以下になり、再びそのレベルを越えたときに、曲番が自動的に付きます（レベルシンクロ録音）。CDからMDに録音するときは、MDの曲番はCDと同じに自動で付きます。



1 録音用のMDまたはテープを入れる。

2 FUNCTION⑫をくり返し押して、録音したい音源を選ぶ。

CDの好きな曲だけを録音するには、「CD/MDを好きな曲順に登録する」（22ページ）の手順1 ～ 5の操作をする。
グループ機能を使うには、GROUP ON/OFF㉓を押して「GROUP」を表示させる。
グループ機能については、「グループを作る」（31ページ）をご覧ください。

3 MDに録音する場合は、REC MODE⑱をくり返し押して、録音モードを選ぶ。

録音終了後も、MDの録音モードは保持される。

表示（録音モード）	MDの録音可能時間
SP （ステレオ録音）	MD記載時間と同じ
LP2 （LP2ステレオ録音）	MD記載時間の2倍
LP4 （LP4ステレオ録音）	MD記載時間の4倍
MONO （モノラル録音）	MD記載時間の2倍 （ステレオ信号をモノラルに変換）

4 MD/TAPE REC⑱をくり返し押して「REC>>MD」または「REC>>TAPE」を表示させる。

MDとテープに同時録音するには、「REC>>MD&TAPE」を表示させる。録音途中でMD、テープのどちらかが終わってしまっても、もう一方は録音を続ける。

5 REC PAUSE/START⑱を押す。

MDまたはテープが録音一時停止になる。
MDのグループ機能を使うには、GROUP ＋/－㉓をくり返し押して、録音したいグループを選ぶ。

6 REC PAUSE/START⑱を押してから、録音したい音源の再生を始める。

CDを録音する場合はCD▶II②、MDを録音する場合はMD▶II②、テープを録音する場合はTAPE▶II②を押す。
好きなところに曲番を付けたいときは、録音中にMD▶II②を押す。

7 ■②を押して録音を止める。

録音を一時停止するには、REC PAUSE/START⑱を押す。もう一度押すと録音が再開される。

CDやテープを全曲録音するには（シンクロ録音）

1 「MD/テープに録音する」（24ページ）の手順3の後に、SYNCHRO REC MENU⑱をくり返し押して、「CD>>MD ×1」（高速で録音するときは、「CD>>MD ×4」）または「CD>>TAPE」、「TAPE>>MD」を表示させる。MDとテープに同時録音するには、「CD>>MD&TAPE」を表示させる。

2 REC PAUSE/START⑱を押す。
MDまたはテープが録音一時停止になる。
MDのグループ機能を使うには、GROUP +/−㉓をくり返し押して、録音したいグループを選ぶ。

3 REC PAUSE/START⑱を押すと録音が始まり、録音が終わると自動的に停止する。

4 テープに録音した場合は、片面が終了すると「Please Replace Tape」と表示されるので、テープを裏返して入れ、REC PAUSE/START⑱を押す。

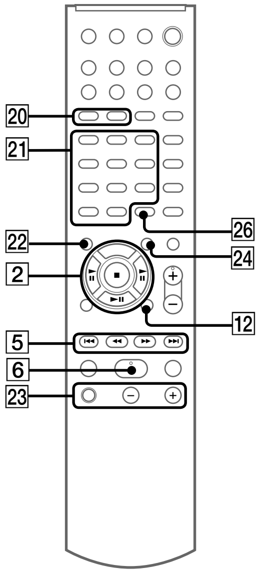
ご注意

- MDに録音した後にMDを取り出したり本機の電源を切ると、「TOC」または「TOC Writing」が点滅します。点滅中は、曲番や曲順などの録音情報（TOC）を書き込み中のため、電源プラグをコンセントから抜かないでください。正しくTOCが記録されず再生できなくなります。
- シンクロ録音で、CDの再生モードがリピートやシャッフルになっているときは、手順2で自動的に解除されます。
- 高速録音時は、CDの再生モードのプログラムやシャッフルは解除されます。
- マニュアル録音の場合、CD録音時に録音一時停止すると、「New Track」が点滅してそこに曲番が付きます。また、同じCDの同じ曲を続けて録音すると、曲番が1つしか付かないことがあります。
- CDまたはテープを全曲録音するときは、CDまたはテープの再生時間よりも残り時間が長い録音用MDを使用してください。
- 高速録音時は、音が出ません。
- シンクロ録音は一時停止できません。

ちょっと一言

- CDを曲の途中からマニュアル録音したいときは、手順5の前に録音を開始したいところでCDの再生を一時停止し、手順6で再生を始めます。
- ラジオ録音時、プリセット受信でラジオ局名がある場合には、ラジオ局名も記録されます。

MDを編集する



1 **MDの誤消去防止状態を解除する。**
つまみを動かして、穴をふさぐ（37ページ）。

2 **FUNCTION⑫をくり返し押して、「MD」を選ぶ。**

3 **停止中に「SHUF」または「PGM」が表示されているときは、PLAY MODE⑳をくり返し押して消す。**
グループを編集するときは、GROUP ON/OFF㉓を押して「GROUP」を表示させる。

4 **MENU/NO㉒を押す。**

5 **⏮/⏭⑤をくり返し押して項目を選び、ENTER/YES⑥を押す。**
項目が確定するまで手順5をくり返す。
それぞれの項目と内容について詳しくは、27ページをご覧ください。

次のページにつづく

応用

6 ⏮/⏭5をくり返し押して曲番などを選び、ENTER/YES6を押す。

設定が確定するまで手順6をくり返す。
「Complete!」と数秒間表示される。

編集を途中でやめるには

MENU/NO22を押す。

ご注意

- MDを編集した後にMDを取り出したり本機の電源を切ると、「TOC」または「TOC Writing」が点滅します。点滅中は、曲番や曲順などの編集情報(TOC)を書き込み中のため、電源プラグをコンセントから抜かないでください。正しくTOCが記録されず再生できなくなります。
- 誤消去防止状態の曲(Net MD対応機器でチェックアウトした曲など)」には「Name In」および「Move」以外の本機での編集操作はできません。

編集する項目は次の中から選べます。

項目		内容
Name In?		ディスクや曲、グループに名前を付ける（28ページ）。
Name Erase?		付けた名前を消す。曲が未登録のグループ名は消せません。
Tr Erase?*		1曲を消す。グループ内の全曲を消すと、グループも消える。
Move?*		曲順を変える（29ページ）。
Combine?*		2曲をつないで1曲にする（30ページ）。
Divide?		1曲を2曲に分ける（30ページ）。
A-B Erase?		1曲の一部を消す（31ページ）。
All Erase?		MDの全内容（全曲と全曲名、ディスク名、グループ名）を、一度に消す。グループ機能が働いているときでも、グループ内の曲だけでなくMDの全内容が消える。
Gp Create?**		新しいグループを作る（31ページ）。
Gp Release?**		指定したグループ登録を解除し、グループを消す（曲そのものは消えない）。
Gp All REL?		すべてのグループを、一度に解除する。
S.F. Edit		SPモードで録音した曲の音声レベルを変える。
Tr Level?		1曲の音声レベルを変える（32ページ）。
Fade In?		1曲の最初を次第に大きく再生する（33ページ）。
Fade Out?		1曲の最後を次第に小さく再生する（33ページ）。
MD Setup?		編集できないディスクが入っている場合は、表示されない。
T.Mark	LSync	お買い上げ時の設定で、音源からの入力信号が約2秒以上続けて一定レベル以下になり、再びそのレベルを越えたときに、曲番が自動的に付く（レベルシンクロ録音）。テープやラジオなどの音源で雑音が多いときや曲によっては、自動では付かないことがある（28ページ）。
	Off	曲番は自動的に付かない。
LS（T）		入力信号の検出レベルを−72dBから0dB（2dB単位）の範囲で変える（お買い上げ時の設定は−40dB）。テープやラジオなど、雑音が多く曲番が付きにくいときは設定レベルを上げると曲番が付きやすくなる。
Smart Space	On	お買い上げ時の設定で、CD以外の録音中に自動的に曲間をそろえる（スマートスペース機能）。 約3秒未満：曲間はそのまま録音される。 約30秒未満：「Smart Space」と表示され、無音部分が約3秒に短縮される。 約30秒以上：「Auto Cut」と表示され、無音部分が約3秒に短縮されたあと、無音一時停止状態になる。録音を続けたいときは、MD▶❚❚②を押す。
	Off	CD以外の録音中に、曲間はそのまま録音される
REC MODE		録音モードを選ぶ。
Undo?		1つ前の編集操作を取り消す。取り消せる編集操作がない場合は、表示されない（28ページ）。

* 曲番は、頭から順に付け直される。

**グループ機能使用時にのみ、表示される。

次のページにつづく

T.Markのご注意

レベルシンクロ録音中でも、次のときは曲番が付かないことがあります。

— 曲の間が短くて一定レベル以下になるのが2秒未満のとき

— 曲の途中でも2秒以上一定レベル以下になるとき

— 4秒*以下の曲を録音したとき

* ステレオ、モノラル、LP2ステレオ録音時。(LP4ステレオ録音時は8秒以下)

Undoのご注意

次のいずれかの操作をすると、「Undo?」は表示されません。

— S.F Edit機能を使って編集する。

— 編集後に、他の編集作業をする。

— 編集後に、録音の操作をする。

— 編集後に、電源を切ったり、MDを取り出したりする。

— 編集後に、電源プラグをコンセントから抜く。

名前を付ける（Name In）

録音したMDにディスク名や曲名を付けられます。

1枚のMDに、ディスク名や曲名、グループ名を計約1,700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。

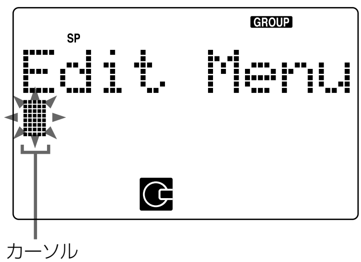
ただし、グループ機能を使って録音したMDにディスク名を付けるときは、グループ管理情報を誤って書き換えてしまわないように、GROUP ON/OFF㉓を押して「GROUP」を表示させた状態でディスク名を付けてください。

1 「MDを編集する」(25ページ)の手順5で「Name In?」を選び、ENTER/YES⑥を押す。

2 ⏮/⏭⑤をくり返し押して、名前を付けたいディスクまたはグループ*、曲番を選び、ENTER/YES⑥を押す。

グループ名を付けるには、手順1の前にGROUP ON/OFF㉓をくり返し押して「GROUP」を表示させる。GROUP＋/－㉓をくり返し押してグループを選び、ENTER/YES⑥を押す。

* グループ機能使用時にのみ、表示される。



3 NAME EDIT㉔を押して、文字の種類を選ぶ。

文字の種類（表示順）	表示
アルファベット大文字/スペース/記号	Selected AB
アルファベット小文字/スペース/記号	Selected ab
カタカナ/カタカナ小文字**/濁点・半濁点	Selected ア
数字	Selected 12

** カタカナ小文字はァィゥェォャュョッのみ入力できます。

4 入力したい文字に対応するアルファベット/数字/カタカナ入力ボタン[21]を押す。

文字の種類	操作
アルファベット/カタカナ	入力したい文字や行がある数字ボタン（または⏮/⏭[5]）をくり返し押して希望の文字を表示させ、▶▶[5]を押す。
数字	入力したい数字の数字ボタンを押す。
濁点（゛）/半濁点（゜）*	>10ボタンをくり返し押して、濁点・半濁点を選ぶ。
スペース（空き）	10/0ボタンを押す。
記号' -/, . ( ) : ！ ？	1の数字ボタンをくり返し押して、記号を選ぶ。
記号＆＋＜＞＿＝"；＃＄％＠＊｀	1の数字ボタンを押してから、⏮/⏭[5]をくり返し押して記号を選ぶ。

* 濁点は「ウ」と「カ/サ/タ/ハ」の各行の文字、半濁点はハ行の文字の後に入力できます。

文字を消すときは、◀◀/▶▶[5]をくり返し押して削除したい文字を点滅させて、CLEAR[26]を押す。

5 手順3、4をくり返して名前を付け、ENTER/YES[6]を押す。
「Complete!」が数秒間表示され、名前が登録される。

ご注意

ディスク名に、「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合があります。

ちょっと一言

- 曲名は再生中でも付けられます。名前を付け終わるまで再生がくり返されます。
- 名前を付けたいディスクまたは曲、グループを選んだ状態でNAME EDIT[24]を押しても、名前が付けられます。

曲順を変える（Move）

曲順を変えることができます。曲番は、頭から順に付け直されます。

1 「MDを編集する」（25ページ）の手順5で「Move?」を選び、ENTER/YES[6]を押す。

2 ⏮/⏭[5]をくり返し押して、移動したい曲を選び、ENTER/YES[6]を押す。

3 ⏮/⏭[5]をくり返し押して、移動した後の曲番を選ぶ。



4 ENTER/YES[6]を押す。
「Complete!」が数秒間表示され、移動した曲の再生が始まる。

ご注意

移動先の曲番がグループに属する場合、移動先のグループに登録されます。また、グループ登録済みの曲の移動先の曲番が、未登録の場合、移動した曲のグループ登録は解除されます。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲は移動できません。

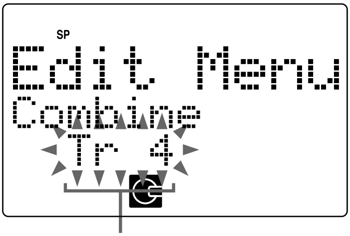
次のページにつづく

曲をつなぐ（Combine）

2曲をつないで1曲にできます。曲番は、頭から順に付け直されます。

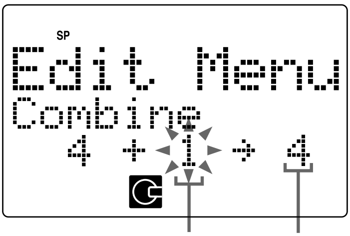
1 「MDを編集する」（25ページ）の手順5で「Combine?」を選び、ENTER/YES6を押す。

2 ⏮/⏭5をくり返し押して、前につなぎたい曲を選び、ENTER/YES6を押す。



前につなぎたい曲

3 ⏮/⏭5をくり返し押して、後につなぎたい曲を選ぶ。



後につなぎたい曲　つないだ後の曲番

4 ENTER/YES6を押す。
「Complete!」が数秒間表示され、つながった曲の再生が始まる。

ご注意

- 別々のグループに登録された2つの曲をつなぐと、後の曲は前の曲が属するグループに登録され、後の曲名は消えます。また、グループ登録済みの曲と未登録の曲をつなぐと、前の曲の属性と同じになります。ただし、グループ機能が働いているときは、グループ内でしか曲をつなげません。
- 録音モード（ステレオ、LP2ステレオ、LP4ステレオ、モノラル）が同じ曲としかつなげません。

曲を分ける（Divide）

テープやラジオから録音し曲番が自動的に付かなかったときに、曲を分けて曲番を付けられます。曲番は、頭から順に付け直されます。

1 「MDを編集する」（25ページ）の手順5で「Divide?」を選び、ENTER/YES6を押す。

2 ⏮/⏭5をくり返し押して、分けたい曲を選び、ENTER/YES6を押す。
「―Rehearsal―」が表示され、分ける部分がくり返し再生される。

3 音を聞きながら、⏮/⏭5をくり返し押して、曲を分ける位置を調節する。
1/86秒（1f）*ずつ位置がずれる。
秒、分単位でずらしたいときは、◀◀/▶▶5を押して、秒または分を点滅させてから、⏮/⏭5を押す。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずれる。

4 ENTER/YES6を押す。
「Complete!」が数秒間表示され、曲が分かれたところから再生が始まる。

ご注意

- 曲名を付けた曲を分けると、前の方の曲にのみ、その曲名が付きます。
- 曲の先頭または最後では曲を分けられません。

曲の一部を消す（A-B Erase）

1曲中で消したい範囲を指定して消せます。衛星放送やFM放送などを録音したMDの不要な部分を消すのに便利です。

1 「MDを編集する」（25ページ）の手順5で「A-B Erase?」を選び、ENTER/YES⑥を押す。

2 ⏮/⏭⑤をくり返し押して、一部を消したい曲を選び、ENTER/YES⑥を押す。
「―Rehearsal―」と「Point A ok?」が交互に表示され、A点までの数秒間がくり返し再生される。

3 くり返し再生される音を聞きながら、⏮/⏭⑤をくり返し押して、消したい部分の始点（A点）を選ぶ。
1/86秒（1f）*ずつ位置がずれる。
秒、分単位でずらしたいときは、⏪/⏩⑤を押して、秒または分を点滅させてから、⏮/⏭⑤を押す。

* モノラルまたはLP2ステレオ録音した曲は2fずつ、LP4ステレオ録音した曲は4fずつ位置がずれる。

4 ENTER/YES⑥を押す。
「Point B set」が表示され、B点を設定するための再生が始まる。

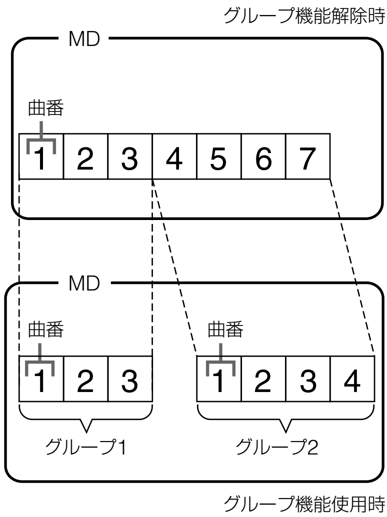
5 再生を続けて、消したい部分の終点（B点）まで行き、ENTER/YES⑥を押す。
「A-B Erase」と「Point B ok?」が交互に表示され、A-B間を消したつなぎ目の部分がくり返し再生される。

6 B点を正しく再生するまで、手順3と同様に⏮/⏭⑤をくり返し押して、消したい部分の終点（B点）を選ぶ。

7 ENTER/YES⑥を押す
「Complete!」が数秒間表示され、A-B部分が消える。

グループを作る（Gp Create）

1枚のMDの曲を、99グループまでに分けて再生や録音、編集できます。1つのグループには連続した曲のみを登録できます。また同じ曲を2つ以上のグループに登録できません。グループに分けると、各グループの曲番は1から順に付け直されます。



グループ機能のない他機器で録音した曲でもグループ登録できます。

1 停止中にGROUP ON/OFF㉓を押して、「GROUP」を表示させる。

2 「MDを編集する」（25ページ）の手順5で「Gp Create?」を選び、ENTER/YES⑥を押す。

3 「名前を付ける（Name In）」（28ページ）の手順3 ～ 5を行う。

4 ⏮/⏭⑤をくり返し押して、登録したい最初の曲を選び、ENTER/YES⑥を押す。

5 手順4と同様に登録したい最後の曲を選ぶ。
「Complete!」が数秒間表示され、最後に登録した曲の再生が始まる。

次のページにつづく

ご注意

- 手順2でグループ名を入力しないと、グループ名は「Group＊＊（グループ番号）」と表示されます。
- グループ機能で録音したMDは、他のグループ機能対応機器でも使えます。ただし、機器によってはグループ機能の動作が本機とは異なる場合があります。
- グループ機能の設定は、MDを取り出したり、本機の電源を切ったりしても記憶されています。
- グループ機能使用時は、グループに未登録の曲は表示、再生できません。
- グループの順番は変えられません。
- すでに曲が記録されている別のグループがある場合、新しいグループはその後ろに追加されます。
- 既存のグループに曲を追加するとグループ内の最後の曲の後に曲が追加されます。グループ機能解除時は、追加録音した曲以降の曲番が変わります。
- グループ管理情報が正しいフォーマットで記述されていないMDを挿入すると、「GROUP」が点滅します。この場合、グループ機能は使えません。

グループ内の曲を聞くには

1 FUNCTION[12]をくり返し押して、「MD」を選ぶ。

2 停止中にGROUP ON/OFF[23]を押して、「GROUP」を表示させる。

3 GROUP＋/－[23]をくり返し押して、聞きたい曲があるグループを選ぶ。
グループ内の途中の曲から聞きたいときは、⏮/⏭[5]をくり返し押して、曲を選ぶ。

4 MD⏯[2]を押す。
再生が始まる。グループ内の最後の曲の再生が終わると、自動的に停止する。

ご注意

曲を登録していないグループを選んだり、グループを選ばずにMD⏯[2]を押すと、MD内の最初のグループの1曲目から再生が始まります。

ちょっと一言

グループ内の曲に限って、再生モード（ノーマル/シャッフル/リピート/プログラム）を選べます。手順2の後で再生モードを選びます。

音声レベルを変える（Tr Level）

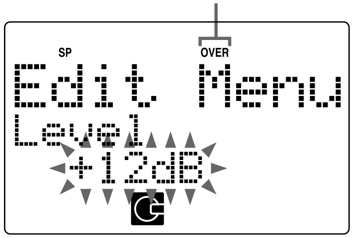
SPモードで録音した曲の音声レベルを変更し、新しい音声レベルで上書きできます。上書きには、その曲の再生時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。

1 「MDを編集する」（25ページ）の手順5で「S.F. Edit」－「Tr Level?」を選び、ENTER/YES[6]を押す。

2 ⏮/⏭[5]をくり返し押して、音声レベルを変更したい曲を選び、ENTER/YES[6]を押す。
「Level 0dB」が表示される。

3 再生される音を聞きながら、⏮/⏭[5]をくり返し押して、－12dBから＋12dBの範囲内（2dB単位）で音声レベルを変更する。

音が一番大きいときに
「OVER」が点灯しないように調節する。



4 ENTER/YES[6]を押す。
「S.F Edit OK?」が表示される。

5 もう一度、ENTER/YES[6]を押す。
「S.F Edit：＊＊%」が表示され、曲の書き換えが始まる。「Complete!」が表示されるまで、操作を途中で停止できません。

ご注意

- 録音情報が破損して正しく記録されないため、曲の書き換え中に本機を揺らしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 音声レベルを変更した曲を再び元のレベルに戻しても、完全に元の音声レベルには戻りません。何度も変更すると音質が劣化します。
- タイマーが働いているときは、音声レベルを変更できません。

フェードイン・アウトする曲を作る（Fade In/Fade Out）

SPモードで録音した曲の頭を次第に大きく再生したり、曲の最後を次第に小さく再生できます。上書きには、その曲の再生時間とほぼ同じかそれ以上の時間がかかります。

1 「MDを編集する」（25ページ）の手順5で「S.F. Edit」－「Fade In?」または「Fade Out?」を選び、ENTER/YES[6]を押す。

2 ⏮/⏭[5]をくり返し押して、曲を選び、ENTER/YES[6]を押す。
「Time5.0s」が表示される。

3 再生される音を聞きながら、⏮/⏭[5]をくり返し押して、フェードインまたはフェードアウトする時間を1秒から15秒の間（0.1秒単位）で調節する。
フェードインまたはフェードアウトされる部分がくり返し再生される。

4 ENTER/YES[6]を押す。
「S.F Edit OK?」が表示される。

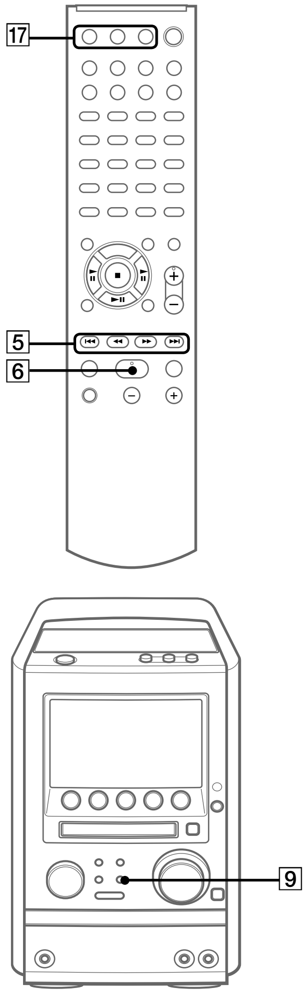
5 もう一度、ENTER/YES[6]を押す。
「S.F Edit：＊＊%」が表示され、曲の書き換えが始まる。「Complete!」が表示されるまで、操作を途中で停止できません。

ご注意

- 録音情報が破損して正しく記録されないため、曲の書き換え中に本機を揺らしたり、電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- タイマーが働いているときは、音声レベルを変更できません。

タイマーを使う

3種類のタイマーがあります。再生タイマーや録音タイマーが働いているときにスリープタイマーを使うと、スリープタイマーが優先されます。



次のページにつづく

応用

スリープタイマー：

指定した時間がたつと、自動的に電源が切れるように設定できます。時計を設定していなくても、働きます。
SLEEP⑰をくり返し押して、時間を選びます。「AUTO」を選ぶと100分たつか、CDやMD、テープの再生が終了すると、自動的に電源が切れます。
タイマーを止めるには、「OFF」を選びます。
シンクロ録音するときは、スリープタイマーを「AUTO」に設定しないでください。

再生タイマー：

指定した曜日、時刻に自動的に電源が入り、切れるように設定できます。操作の前に、時計を合わせてください（15ページ）。

録音タイマー：

指定した曜日、時刻にラジオから録音できます。5件まで設定できます。あらかじめラジオ局を登録して（16ページ）、時計を合わせてください（15ページ）。

1 音源を準備する。

再生タイマー

CDの好きな曲から再生したいときは、プログラムする（22ページ）。

2 タイマーの種類を選ぶ。

再生タイマー

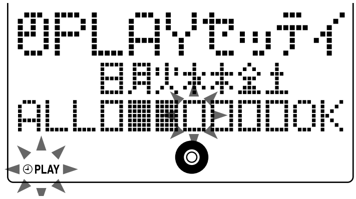
TIMER PLAY⑰を押す。
すでに再生タイマーが設定されている場合は、|◀◀/▶▶|⑤をくり返し押して「セッテイ」を選び、ENTER/YES⑥を押す。

録音タイマー

TIMER REC⑰をくり返し押して、「REC 1」から「REC 5」までのいずれかを選ぶ。
|◀◀/▶▶|⑤をくり返し押して、1回のみか毎週かを選び、ENTER/YES⑥を押す。

3 |◀◀/▶▶|⑤をくり返し押して、設定したい曜日に合わせ、ENTER/YES ⑥を押す。

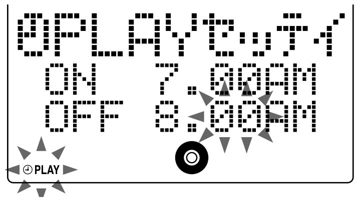
選んだ曜日の下が黒に変わる。毎日のときは「ALL」を選ぶ。設定が完了したら、「OK」を選び、ENTER/YES⑥を押す。



録音タイマーで「イチド?」を選んだ場合は、|◀◀/▶▶|⑤をくり返し押して、「月」を合わせ、ENTER/YES⑥を押す。同様に「日」も設定する。

4 開始時刻と終了時刻を合わせる。

|◀◀/▶▶|⑤をくり返し押して、「時」を合わせ、ENTER/YES⑥を押す（正午は0：00PM、真夜中は0：00AM）。「分」および終了時刻も同様に設定する。



5 音源を選ぶ。

|◀◀/▶▶|⑤をくり返し押して、音源を選び、ENTER/YES⑥を押す。録音タイマーの場合は、ラジオ局を選ぶ。

6 音量や録音モードを選ぶ。

再生タイマー

|◀◀/▶▶|⑤をくり返し押して、タイマー開始時の音量を設定し、ENTER/YES⑥を押す。タイマーの設定確認が表示される。

録音タイマー

⏮/⏭5をくり返し押して、「REC>>MD」または「REC>>TAPE」を選び、ENTER/YES6を押す。MDに録音するときは⏮/⏭5をくり返し押して、録音モードを選び、ENTER/YES6を押す。
タイマーの設定確認が表示される。
録音用のMDまたはテープを入れる。録音済みのMDの場合、録音済みの曲のあとに録音される。テープは録音したい面を上にして入れる。

7 電源を切る。

再生タイマーは開始時刻の約15秒前、録音タイマーは約40秒前に、電源が自動的に入る。そのときに、すでに電源が入っていると、タイマーは働きません。

1つ前の項目に戻るには

◀◀5（本体のRETURN9）を押す。

再生タイマー設定を確認する/解除する

1 TIMER PLAY17を押す。

2 ⏮/⏭5をくり返し押して、「ON」または「OFF」を選び、ENTER/YES6を押す。

録音タイマー設定を確認する/解除する

1 TIMER REC17をくり返し押して、確認したい設定を選ぶ。

2 ⏮/⏭5をくり返し押して、「カクニン」または「クリア」を選びENTER/YES6を押す。登録している録音タイマー設定をすべて解除する場合は、手順1で「ALLクリアー？」を選び、ENTER/YES6を2回押す。

ご注意

- 再生タイマーと録音タイマーの設定時間が重なっている場合は、録音タイマーが優先されます。
- 複数の録音タイマーが重なっている場合は、REC番号の小さい設定が優先されます。
- 録音中、ボリュームは最小になります。
- MDに録音するときに、グループ機能を働かせて録音タイマーを設定した場合、グループを指定していなければ、新しいグループを作って録音します。
- 再生タイマーの音源をテープにしているとき、同時に録音タイマーを設定すると、テープに録音されることがあります。
- タイマー録音時はMDにラジオ局名は記録されます。

使用上のご注意

再生できるディスク

- 音楽用CD
- MD
- CD-R/CD-RW（音楽データ）

再生できないディスク

- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- 中古ディスクやレンタルディスクで、セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの接着剤がはみ出したり、はがしたあとのあるディスク
- 市販されているシールやリングなどのアクセサリーを取りつけたディスク
- 8cmディスクを標準ディスクに変換するアダプターを使用したディスク
- セッションクローズ処理をしていないCD-RおよびCD-RWディスク
- 状態の悪いレコーダーやディスクで録音したCD-RおよびCD-RWディスク

設置時のご注意

- 温度上昇を防ぐために、密閉した場所に置かず、風通しの良い所で使ってください。
- スピーカーの近くに磁気を発生するもの（健康器具、玩具など）を置くと、相互作用でテレビ画面に色むらが起こりやすくなります。
- 特殊な塗装、ワックス、油脂、溶剤などが塗られている場所に、本体およびスピーカーなどを置くときは、変色、染みなどが残ることがあります。
- 部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります（結露）。正常に動作しないばかりでなく、ディスクや部品を傷めることがあるので、本機を使わないときは、ディスクを取り出してください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

使用時の放熱について

- 使用中、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 大音量で鳴らし続けると、本体キャビネットの天板や側板、底板、通風孔はかなり熱くなります。このようなときは、火傷などのけがの原因になるため、キャビネットなどに触れないでください。
  また、動作中の温度上昇を避けるために空冷ファンを搭載している機器では、大きな音を出したときなどにファンが回転します。機器の温度が上昇して故障の原因になるため、ファンの通風孔付近を塞がないでください。
- 電源を切っているにもかかわらず、本機の天板が温かくなることがありますが故障ではありません。電源コードがコンセントに差し込まれている限り、電源を切っているときでも本機の一部には電流が流れていて、リモコンでの操作の待ち受けや、タイマー動作などのために使われます。

テレビの色むらについて

本機のスピーカーは防磁型ではありません。そのため、本機のスピーカーをテレビのそばで使うと、テレビ画面に色むらが起こります。テレビから離してお使いください。色むらが起きたら、いったんテレビの電源を切り、15 ～ 30分後に再びスイッチを入れてください。それでも色むらが残る場合は、スピーカーをさらにテレビから離してください。

テレビのノイズについて

本機はデジタル機器です。そのため本機をテレビのそばで使うと、画面にノイズが入ることがあります。テレビから離してお使いください。

お手入れのしかた

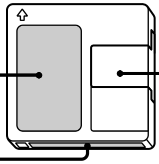
キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

CDの取り扱いかた

- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭いてください。
- 汚れがひどいときは、少し湿らせた布で拭いた後、乾いた布で水気を拭き取ってください。ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは使わないでください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。

MDの取り扱いかた

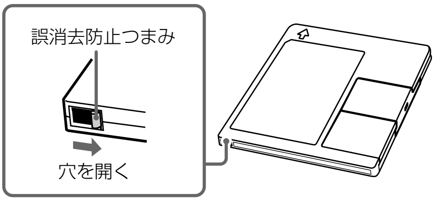
- シャッターを無理に開けようとすると、壊れます。シャッターが開いてしまった場合は、内部のディスクに直接触れずに、すぐに閉めてください。
- ディスクに付属のラベルはシャッターの周りなど所定の位置以外に貼らないでください。必ずラベル用のくぼみに貼ってください。くぼみの形はディスクによって異なります。



- 定期的にカートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた布で拭き取ってください。
- 直射日光が当たる場所、車やトランクの中など、高音になるところには置かないでください。

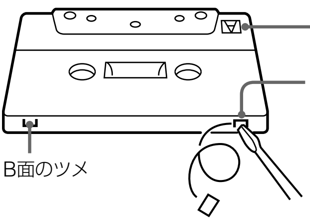
MDの録音内容を消したくないときは

誤消去防止つまみをずらして穴を開きます。再び録音するときは、つまみを元の位置に戻します。

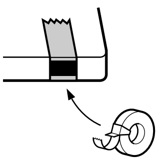


テープの録音内容を消したくないときは

消したくない面の誤消去防止ツメを折ります。



ツメを折っても、折ったツメの部分だけ穴をふさげば再び録音できます。



長時間テープの使用は避けてください

90分を超える長時間テープは、テープ自体が薄く伸びやすい性質になっています。そのため機械に巻き込まれ、本機の故障の原因となる場合があるため、使わないでください。

テープヘッドのお手入れ

ヘッドはおよそ10時間使うごとに別売りのクリーニングカセット（乾式）C-1KDを使ってクリーニングしてください。汚れがひどくなると、音が悪い、音が小さい、音がとぎれる、前の音が消えないで残る、録音ができない、などの症状が出ます。
また、特に大切な録音をする前や古いテープを使用した後には、かならずクリーニングしてください。詳しくはクリーニングカセットの取扱説明書をご覧ください。

テープヘッドを消磁する

ヘッドやテープのあたる金属部分は、20 ～ 30時間使うごとに別売りのカセットタイプのヘッド消磁器で消磁してください。詳しくはヘッド消磁器の取扱説明書をご覧ください。

MDのご注意

MDではいくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない

ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒*以下の部分は無視するため、短い曲を何曲消しても、録音できる残り時間が増えないことがあります。

* ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約24秒、LP4ステレオ録音時は約48秒）

ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間と一致しない

通常、録音は約2秒**を最小単位としてディスクに記録されます。2秒**に満たない場合でも、実際には2秒**分のスペースを使うため、実際に録音できる時間は少なくなります。また、MDに傷があるとその部分を自動的に削除するため、その分の時間が減ります。

**ステレオ録音時。（モノラル、LP2ステレオ録音時は約4秒、LP4ステレオ録音時は約8秒）

編集した曲を再生しながら早送り、巻戻しすると音が途切れる

再生しながら早送り、巻戻しするときは通常より高速で再生します。このため、短い曲がディスクの上に分散していると探すのに時間がかかり、音が途切れることがあります。

余分な曲が作られる

CDの曲間が長い場合、余分な曲が作られることがあります。

録音したトラック数が異なる

CDに短い曲が含まれている場合、録音しても曲番が付かず、CDとMDで曲数が異なることがあります。

デジタル録音の制約（シリアルコピーマネージメントシステム）について

デジタルオーディオでは、音声信号をデジタルでやりとりします。CD、MD、DAT（デジタルオーディオテープ）、衛星デジタル音楽放送などがこれに当たり、これらは音楽を手軽に劣化の少ない状態でコピーできます。このため、音楽ソフトの著作権を保護するコピー規制（シリアルコピーマネージメントシステム）が必要となり、本機はこのシステムに準拠しています。

原則1：デジタル録音したものから、さらに他のデジタル録音機器（MDやDATデッキなど）へのデジタル録音はできません。
原則2：アナログ録音したものは、他のデジタル録音機器へ1度だけデジタル録音できます。
機器のアナログ入出力端子同士を接続してアナログ録音するときは、上記の原則にあたりません。
著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

長時間録音（MDLP録音）について

MDLP録音した曲は、MDLP対応機器でのみ再生できます。LP4ステレオ録音は、特殊な圧縮方式によって長時間録音を実現しています。音質を重視するときは、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音をおすすめします。
1枚のMDに各録音モードを混在させて録音することもできます。
録音モードを「MONO」にしても、スピーカーからは音源のままの音声（ステレオ信号録音時はステレオ音声）が聞こえます。
MDLP録音したMDをMDLP未対応機器で再生しようとしたときに、「LP:」と表示して再生できないことがわかるように編集されたMDがあり、それらのMDを再生すると、本機はMDLPに対応しているため、「LP:」は表示されません。

ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）について

CDを高速でMDにシンクロ録音すると、録音を始めた時点から74分間は、同一の曲を高速録音できません。ハイスピードコピーマネージメントシステム（HCMS）では、CDの曲ごとに固有なデータ（ISRC: International Standard Recording Code）をもとに、録音しようとしている曲が74分以内に録音されているかどうかを判定します。
すでに高速でシンクロ録音された曲を再び高速でシンクロ録音した場合、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わり、録音を継続します。
高速でのシンクロ録音を曲の途中で止めたり、曲の録音中にMDの残り時間がなくなったり、本機の電源を切ったり、スリープタイマーで電源が切れると、その曲はMDに記録されないため、すぐに高速でシンクロ録音し直せます。
高速でのシンクロ録音中に本機の電源コードを抜くと、電源が切れるまでに録音された部分がMDに記録されるため、録音開始時点から74分間は、同一の曲を高速録音できません。

故障かな？と思ったら

本機を使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてください。自己診断表示機能（42ページ）やメッセージ一覧（43ページ）も合わせてご覧ください。メッセージなどが表示されている場合は、書きとめてください。

1 この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
本書の手順の中にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

2 それでもトラブルが解決しないときは、お客様ご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店に相談する。

共通

症状	原因と対応のしかた
音がおかしい	→ 左右のスピーカーの高さ、距離をできるだけ対称にする。 → 付属のスピーカーの接続を確認する（12ページ）。
雑音が多い	→ テレビやビデオなど、ノイズを出す機器から離れたところに設置する。 → 別の電源コンセントにつなぐ。 → 市販のノイズフィルターを使用する。
リモコンで操作できない	→ リモコンと本体の間の障害物を取り除き、本体を蛍光灯から離して設置する。 → リモコンを本体のリモコン受光部 R ⑭に向ける。 → 本体に近寄って操作する。
本体のMD►II②ボタンが点滅している。	→ 電源コードを抜いて、スピーカーコードがショートしていないか（12ページ）、付属以外のスピーカーを接続していないか、風通しの悪い所に置いたり通風口をふさいだりしていないか（5ページ）、交流100V以外のコンセントに接続していないか（4ページ）を確認する。 それでも本体のMD►II②ボタンが点滅するときは、お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

CD

症状	原因と対応のしかた
音飛びがする	→ ディスクの汚れを拭き取る。 → 振動のない場所（安定した台の上など）に設置する。 → スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置する。低音の効いた曲を大音量で聞いている場合、スピーカーの振動により音飛びしている可能性がある。
再生が始まらない	→ ディスクが汚れていたり傷があるため、ディスクを交換する。 → 本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。ディスクを本機に入れ、本機の電源を入れたまま数時間待つ。
再生が1曲目から始まらない	→ 停止中にPLAY MODE⑳をくり返し押して、画面の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。

その他

次のページにつづく

症状	原因と対応のしかた
再生開始までに時間がかかる	→ CD Power ONを設定する。手順は以下の通りです。FUNCTION⑫をくり返し押して、「CD」を表示させ、電源を切る。次に、本体のFUNCTION⑫を押しながら、本体のI/⏻①を押す。「CD Power ON」と表示される。

MD

症状	原因と対応のしかた
再生が始まらない	→ ディスクが汚れていたり傷があるため、ディスクを交換する。 → 本機内部のレンズ、または入れたディスクが結露している。ディスクを本機に入れ、本機の電源を入れたまま数時間待つ。 → グループ登録された曲がないときに、グループ機能を働かせている。GROUP ON/OFF㉓を押して、「GROUP」表示を消し、グループ機能を解除する。
音飛びがする	→ ディスクの汚れを拭き取る。またはディスクを交換する。 → 振動のない場所（安定した台の上など）に設置する。 → スピーカーと本機を離す、または別々の台の上に設置する。低音の効いた曲を大音量で聞いている場合、スピーカーの振動により音飛びしている可能性がある。 → 本機内部とディスクの温度差がはげしい。ディスクを本機に入れ、電源を入れたまま10 ～ 20分待つ。
再生が1曲目から始まらない	→ 停止中にPLAY MODE⑳をくり返し押して、画面の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。
録音できない	→ 市販の再生専用のMDが入っている。録音用MDと交換する。 → MDの残り時間が足りないため、MD編集のErase機能を使って不要な曲を消すか、別のMDと交換する。 → 録音中に停電があった、または電源コードを抜いた。
CDをMDに高速でシンクロ録音できず通常速度の録音に切り換わってしまう	→ ディスクを交換する。 → 設置場所を変える。 → ハイスピードコピーマネージメントシステムの制約により、75分経過後に録音し直す（38ページ）。
LP4ステレオで録音すると音がもれる	→ 片方のチャンネルだけに音声が録音されているCDやテープ、別売り機器の音を録音時は、音が録音されていないチャンネルにも音がもれることがあるため、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音する。
録音したMDの音が他機器で聞けない	→ MDLPに対応しているMDプレーヤーで再生する。 → 録音モードを通常の長さのステレオ録音またはモノラル録音にして録音し直す。

ラジオ

症状	原因と対応のしかた
雑音が入る(「STEREO」が点滅する)	→ アンテナを正しく接続し直す。 → 受信状態のよい場所(窓の外など)や方向を探し、設置し直す。 → 市販の外部アンテナをつなぐ。 → 近くの電気器具の電源を切る。 → CD Power OFFを設定する。手順は以下の通りです。 FUNCTION⑫をくり返し押して、「CD」を表示させ、電源を切る。次に、本体のFUNCTION⑫を押しながら、本体のI/⏻①を押す。「CD Power OFF」と表示される。
MDに録音中、ザーザーという雑音が周期的に入る	→ アンテナの設置位置が適切でないため、雑音が消える位置までアンテナを動かす。
テレビ放送が聞こえない	→ 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

テープ

症状	原因と対応のしかた
雑音が多い。または音がとぎれる。	→ 内部のピンチローラーの汚れを取る。またヘッドの汚れを取り、消磁する。

別売り機器

症状	原因と対応のしかた
音が歪む	→ AUDIO INジャック⑧につないだ機器からのアナログ録音中に、規定以上の大きな信号が入ってきたため、本機へ入力される音を小さくする。
MDプレーヤーから音が出ない	→ MDLPに対応しているMDプレーヤーで再生する。 → 録音モードを通常の長さのステレオ録音またはモノラル録音にして録音し直す。

これらの処置をしても正常に動作しないときは(リセット)

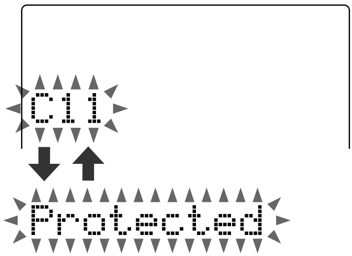
1 電源コードを抜いて、入れ直す。

2 本体の■②とSET UP④、I/⏻①を3つ同時に押す。
ラジオ局のプリセットや時計合わせ、タイマーなどの設定が、お買い上げ時の状態に戻る。

次のページにつづく

自己診断表示機能

本機には自己診断表示機能がついています。
これは、本機が正しく動作していないとき、画面に表示番号とメッセージを交互に表示してお知らせする機能です。
以下の表をご覧になり、表示に合った対応をしてください。2、3度くり返しても正常に戻らないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。



表示番号/メッセージ	原因と対応のしかた
C11/Protected	→ ディスクが誤消去防止状態になっている。ディスクを取り出し、録音可能状態にする。
C13/REC Error*	→ 正しく録音できなかった。振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す。 → ディスクにひどい汚れや傷がある、またはディスクが規格外である。ディスクを交換して、録音をやり直す。
C13/Read Error	→ ディスク情報を正しく読み取れなかった。ディスクを入れ直す。
C14/TOC Error	→ ディスク情報を正しく読み取れなかった。他のディスクを入れてみる。 → ディスク上の全内容を削除してよいときは、MD編集のAll Erase機能を使って全内容を削除する。
C41/Cannot Copy	→ 録音しようとした音源が市販の音楽ソフトのコピーになっている。シリアルコピーマネージメントシステムにより、コピーできない（38ページ）。
E0001/MEMORY NG	→ 本機を動作させるために必要な内部情報に問題が生じた。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
E0101/LASER NG	→ 光ピックアップに問題が生じた。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
E0201/LOADING NG	→ ローディングに問題が生じた。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

* 操作できなくなった場合は、電源を切って1分程してから再度電源を入れてディスクを取り出す。

メッセージ一覧

CD

メッセージ	原因と対応のしかた
LOCKED	→ ディスクトレイが固定されているため、開かない。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
Not In Use	→ 使用できないボタンを押した。
No Disc	→ ディスクが入っていない。
OVER	→ 再生または一時停止中に▶▶5を押し続け、ディスクの最後まで達した。◀◀5を押し続けるか、または⏮5を押して再生位置を戻す。
Push Stop!	→ 再生中に再生モードを変えようとした。再生を停止させてから、操作する。
Reading	→ ディスクの情報を読み取っているため、表示が消えるまで本機に振動を与えないでください。
Step Full!	→ 26曲以上はプログラムできません。

MD

メッセージ	原因と対応のしかた
Assign None	→ すべての曲がグループ登録されている。
Auto Cut	→ 録音中、無音状態が約30秒以上続いたため、無音部分を約3秒に短縮した後、録音一時停止状態になっている。録音を再開したいところでMD▶II2を押す。曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除して録音し直す(27ページ)。
Blank Disc	→ 挿入されたMDには何も録音されていない、またはMD編集のErase機能で全録音内容が削除されている。
Cannot Edit	→ 市販の再生専用MDが入っている。再生専用MDは編集できない。 → PLAY MODE20をくり返し押して、画面の「PGM」または「SHUF」を消し、ノーマル再生に戻す。 → MDLP録音した曲の音声レベルは変更できない。
Cannot REC	→ 市販の再生専用MDへは録音できない。 → ファンクションを録音したい音源に切り換える。
Complete!	→ MD編集作業が、正常に終了した。
Disc Full!	→ 録音可能時間が残り少ないため、録音できない。新しいディスクと交換する。 → 255曲以上は録音できないため、不要な曲を消す。 → エンファシス情報などが頻繁に変化する曲を録音したり、録音や編集をくり返し行うと、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full!」が表示される。MDのシステム上の制約で、故障ではありません。

その他

次のページにつづく

メッセージ	原因と対応のしかた
Group Full!	➔ グループ数の上限を越えて新たにグループを作成しようとした。または、グループ管理情報の更新に必要な文字数が不足している。不要な文字（ディスク名または曲名）を消す。 ➔ グループ機能が働いていないときでも、Move、Divideなどの編集操作を行うと、グループ管理情報が更新されるため、「Group Full!」と表示されることがある。
Impossible	➔ MD編集操作で、不可能な編集内容が指定された。編集操作をやり直す。 ➔ つなごうとした（Combine）または一部分を消そうとした（A-B Erase）曲が、MDのシステム上の制約で編集できなくなっている。MDでは、ひとつの曲が連続して録音されず、ディスク上の空いている場所を探しながら効率よく録音されるため、手軽に録音、編集がくり返しできるが、何度もくり返すとひとつの曲がディスクのあちこちに、少しづつ記録される状態になり、編集できなくなる。 ➔ 曲を分ける位置（ポジション）に曲の先頭または最後が指定されたときは「Impossible」と表示される。.◀◀/▶▶I5をくり返し押して、位置を変更する。
Incomplete!	➔ 本機の振動やディスクの傷、汚れなどにより、録音後の音声レベルの変更やフェードイン・フェードアウトの操作が正しく行われなかった。本機を振動のない場所に置く、または傷や汚れのないディスクを使用する。
Name Full!	➔ 入力可能な文字数（約1,700文字、カナ文字のみで800字）がすでに記録されている。不要な曲名などを削除してから、入力し直す。
No Change	➔ 録音後に音声レベルを変更するときに、音声レベルを変更しないでENTER/YES6を押したため、書き換えをせずに終了した。
No Disc	➔ ディスクが挿入されていない。
Push Stop!	➔ 再生中に再生モードを変えようとした。再生を停止させてから、操作する。
Reading	➔ ディスクの情報を読み取っているため、表示が消えるまで本機に振動を与えないでください。
－Rehearsal－	➔ A-B EraseまたはDivideなどの編集操作で、曲を分ける場所の指定終了後、確認のために再生している。再生される内容を聞き、分ける部分を確認する。
Retry	➔ CDの読み取りエラーが起こり、CDのデータを再度読み取っている。読み取りに成功すると、高速でシンクロ録音を続ける。CDや本機の状態が悪いと「Retry」が点滅し、自動的に通常速度のシンクロ録音に切り換わる。なお、このとき、録音されている音を聞けません。
Retry [HCMS]	➔ 75分経過後に高速でシンクロ録音し直す。 ➔ 通常速度でシンクロ録音し直す。
S.F Edit!	➔ S.F Edit（録音後の音声レベルの変更、フェードイン·フェードアウト）の実行中は他の操作はできません。
S.F Edit NOW	➔ S.F Edit（録音後の音声レベルの変更、フェードイン·フェードアウト）の実行中に電源を切ると、書き換えが正常に終了しない。書き換え終了後に電源を切る。
Smart Space	➔ 録音中、約3秒以上、約30秒未満の無音状態が続いたため、無音部分が約3秒に短縮された。曲間をつめたくないときは、スマートスペース機能を解除する。

メッセージ	原因と対応のしかた
Step Full!	→ 26曲以上はプログラムできません。
TOC Writing	→ 録音、編集された情報を、ディスクに書き込んでいるため、表示が消えるまで本機に振動を与えないでください。
Track End	→ Divideの編集操作中、曲を分ける位置の調節中に曲の最後まで達したので、 ⏮ 5または◀◀5を押して、位置を変える。
Tr Protected	→ Net MD対応機器でチェックアウトした曲などは、曲が保護されているため、一部のMD編集機能は使用できません。

テープ

メッセージ	原因と対応のしかた
No Tape	→ テープが入っていない。
No Tab	→ 誤消去防止ツメが折れているため、録音できない。A、B両面のツメの部分だけ穴をふさぐ。

タイマー

メッセージ	原因と対応のしかた
OFF TIME NG	→ 再生タイマー設定で、終了時刻と開始時刻を同じに設定した。終了時刻を設定し直す。
Please ⏲PLAY OFF	→ 再生タイマー起動中に、時計設定を行った。再生タイマーを解除する。
Please ⏲REC OFF	→ 録音タイマー起動中に、時計設定を行った。録音タイマーを解除する。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CMT-M3
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 自己診断機能の状況：
- 故障したときに再生していたディスク：
- 購入年月日：
- お買い上げ店：

ラジオ局名一覧

本機には、国内の以下のラジオ局の名前があらかじめ登録されています。

ホッカイドウ（北海道）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
80.4	AIR-G'	900	HBCラジオ
76.4		1269	
78.5		1287	
86.4		1404	
89.4		1449	
88.8		801	
83.1		864	
82.5	FMノースウェーブ	1368	
79.8		639	STVラジオ
82.1		909	
80.7		1071	
79.4		1440	
		882	
		1062	
		1197	

トウホク（東北）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	FMイワテ	684	IBCイワテ
77.1	Date fm	918	YBCヤマガタ
80.0	FMアオモリ	936	ABSアキタ
80.4	Boy-FM	1458	ラジオフクシマ
81.8	フクシマFM	1233	RABアオモリ
82.8	Co-muchFM	1260	TBCトウホク

カントウコウシンエツ（関東甲信越）

FM		AM	
周波数（MHz）	放送局名	周波数（kHz）	放送局名
76.1	Inter FM	765	YBSヤマナシ
76.5		954	TBSラジオ
76.4	RadioBerry	1098	SBCシンエツ
77.1	ホウソウダイガク	1116	BSNニイガタ
78.8			

次のページにつづく

FM		AM	
77.5	FMニイガタ	1134	ブンカホウソウ
86.5		1197	IBSイバラキ
78.0	bayfm	1242	ニッポンホウソウ
79.3		1422	ラジオニホン
83.0	FM-FUJI	1530	CRTトチギ
78.6			
79.0	FM Port		
79.5	NACK5		
79.7	FMナガノ		
80.0	TOKYO FM		
81.3	J-WAVE		
84.7	FMヨコハマ		
86.3	FMグンマ		

チュウブ(中部)

FM		AM	
周波数(MHz)	放送局名	周波数(kHz)	放送局名
76.1	FMフクイ	738	KNBキタニホン
77.8	ZIP-FM	864	FBCフクイ
78.9	FMミエ	1053	チュウブニホン
79.2	K-MIX	1107	MROホクリク
79.5	RADIOi	1332	トウカイラジオ
80.5	HELLO FIVE	1404	SBSシズオカ
80.7	FM AICHI	1431	GBSギフ
82.7	FMトヤマ		
80.0	Radio80		

キンキ(近畿)

FM		AM	
周波数(MHz)	放送局名	周波数(kHz)	放送局名
76.5	FM COCOLO	558	AM KOBE
77.0	e-radio	1008	ABCアサヒ
77.6	Kiss-FM	1143	KBSキョウト
89.9		1179	MBSマイニチ
80.2	FM802	1314	ラジオオオサカ
85.1	EASY851	1431	WBSワカヤマ
89.4	α-STATION*		

* MDに録音した場合、「α」はMD規格外の文字のため空白表示される。

チュウゴク(中国)

FM		AM	
周波数(MHz)	放送局名	周波数(kHz)	放送局名
76.8	FMオカヤマ	765	KRYヤマグチ
77.4 78.8 86.6	V-air	900	BSSサンイン
		1350	RCCチュウゴク
		1494	RSKサンヨウ
78.2	HFM		
79.2	FMY		

シコク(四国)

FM		AM	
周波数(MHz)	放送局名	周波数(kHz)	放送局名
78.6	FMカガワ	900	RKCコウチ
79.7	FMエヒメ	1116	RNBナンカイ
80.7	FMトクシマ	1269	JRTシコク
81.6	Hi-Six	1449	RNCニシニホン

キュウシュウ(九州)

FM		AM	
周波数(MHz)	放送局名	周波数(kHz)	放送局名
76.1 82.7	LOVE FM761	738	RBCリュウキュウ
		864	ラジオオキナワ
77.0 78.7 86.5	CROSS FM	936	MRTミヤザキ
		1098	OBSオオイタ
		1107	MBCミナミニホン
77.4	FMK	1197	RKKクマモト
77.9	FMサガ	1233	NBCナガサキ
79.5 80.3	SMILE-FM	1278	RKBマイニチ
		1413	キュウシュウアサヒ
79.8	μFM	1458	ラジオサガ
80.0 80.7 82.1	FMフクオカ		
83.2	JOY FM		
87.3	FMオキナワ		
88.0	FMオオイタ		

主な仕様

本体（HCD-M3）

アンプ部

実用最大出力	25W＋25W（JEITA* 6Ω 負荷）
入力端子	AUDIO IN端子：ステレオミニジャック0.7V（47kΩ）標準
出力端子	AUDIO OUT端子：ステレオミニジャック PHONES端子：ステレオミニジャック16Ω 以上

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
周波数特性	5Hz～20kHz

MDデッキ部

サンプリング周波数	44.1kHz
周波数特性	5Hz～20kHz

カセットデッキ部

トラック方式	4トラック2チャンネルステレオ
周波数特性	ソニーTYPE Iカセット 60～8,000Hz

チューナー部

受信周波数	FM：76～90MHz（100kHzステップ） TV：1～3CH（モノラル）** AM：531～1,629kHz（9kHzステップ）
アンテナ端子	FM：75Ω 不平衡型 AM：外部アンテナ端子

スピーカーシステム（SS-CM3）

型式	2ウェイバスレフ型
使用スピーカー	ウーファー（低音用）12cmコーン型 トゥイーター（高音用）4cmコーン型 インピーダンス：6Ω
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）	154×235×240mm
質量	2.5kg（1台）

その他

電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	50W：通常動作時（JEITA*） 0.4W以下：スタンバイ（節電モード）時
最大外形寸法（幅×高さ×奥行き、最大突起部含む）	アンプ/CDプレーヤー/MDデッキ/カセットデッキ/チューナー部：160×240×299mm
質量	アンプ/CDプレーヤー/MDデッキ/カセットデッキ/チューナー部：4.7kg
付属品	リモートコマンダー（RM-SM3）（1） 単3形乾電池（2） FM用簡易アンテナ（1） AMループアンテナ（1） 取扱説明書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1） 保証書（1）

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

* JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

** 地上アナログテレビ放送は2011年7月までに終了することが、国の法令によって定められています。地上アナログテレビ放送終了後は、本機ではテレビの音声を聞くことはできません。

eco info

- 待機時消費電力0.4W以下
- 主なプリント配線板にハロゲン系難燃剤を使用していません
- 主なはんだ付け部に無鉛はんだを使用
- キャビネットにハロゲン系難燃剤を使用していません

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

アルファベット

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311

（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311

（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China